

# KiKiの広場

2017年 11月 1日

cafe NO.85  
KiKi



「KiKiの広場」の第1号は、実は7年前の11月です。「ヒストリア宇部」と「cafe KiKi」がオープンしたのは、その2か月前の9月でした。絵本が好き♡子どもや人と関わることが好き♡という想いで集まった仲間と、初めてのことに試行錯誤しながら挑戦していく日々を送っている中、今まで気づかなかったことに気付いたり、些細なことに喜びを感じたりと、いろいろな発見がありました。そこで、嬉しいことも反省することも、その時その時感じたことを残していけたらいいなあという思いで、「KiKiの広場」を始めました。そして、気が付くと85号。毎月過去のその月の号を読み返しながら作っていますが、当時のいろいろな思いがよみがえってきて、毎回かかる時間が増えてきているような気がします。いつまで続くかわかりませんが、これからも楽しみながら書かせてもらおうと思っています。どうぞ、よろしくお願いします♡♡♡

## 11月の予定

休館日	14日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時営業日	4日(土)・5日(日)
臨時休業日	9日(木)・10(金)・13日(月)

## 「今日のケーキ」…「かぼちゃと紫芋のモンブラン」350円

数量限定ということなので、今月も引き続き…♡



かぼちゃと紫芋、2つのおいしさを一緒に楽しめるモンブランチョコをアクセントに加えた、濃厚かぼちゃホイップを中に閉じ込めています。



## 今日のお気に入り…「とにかくただただ笑いたい時に、もってこいの絵本」

～「つきよのかいじゅう」「かようびのよる」「うんちしたのはだれよ」「あきちゃった」「いちばんつよいのはオレだ」などなど～



長新太さん作の「つきよのかいじゅう」は、10年間、湖で怪獣が出てくるのを待ち続けた男のお話…かと思っていたら、「ハア～!?!」「ええ～っ!?!」という展開に、笑ってしまうことまちがいないです。「かようびのよる」は、初めて見た時「こんな絵本があるんだ」と感動しました。火曜日の夜の主役はカエル。絵本の中に、警察に事情聴取されている作者のデイヴィッド・ウィーズナーも出てきます。とってもリアルで愉快的カエルたちに目が釘付けに。一度読んだら忘れられない絵本です。さて次の火曜日の主役は?



## 今日の本棚…「秋深き隣は何をする人ぞ…の絵本」

～「芭蕉さん」「ショーティーとねこ」「そこなし森の話」「ねこだまし」「ニャーンといたのはだーれ」「ダンテライオン」など～



俳句と言えば松尾芭蕉。その解説絵本の「芭蕉さん」。この句についても解釈はいろいろあるようですが、深まる秋を感じつつ身近な俳句に触れながら、絵本を楽しんでもらえたらと思います。「ショーティーとねこ」は、子犬のショーティーと仲良しだった猫がある日突然箱の中に入ってしまい、ショーティーが中をのぞこうとすると怒られてしまうので、ショーティーは箱の中が気になってしかたがないというお話です。その理由とは?ほっこりするかわいいお話です。



## ほっとフレイク

胡蝶蘭その5…3度咲きに挑戦!! みごとに25個の花を二度咲きさせてくれた受付の胡蝶蘭も、その全ての花が落ちました。二度咲きも私たちにとっては奇跡のような出来事でしたが、葉の様子を見るとまだまだ元気。となると…、次もいけるんじゃないかという欲が出てきました。いろいろ調べてみたところ、3本の茎は3つの株の寄せ植えなので、本当はそれぞれ鉢に植え替えなければいけなかったみたいです。でもそのままたくさんの花



をつけたので、今さら怖くていじることはできません。なので、あえてこのままの状態、三度目に挑戦することにしました。聞くところによると、根腐れしたり病気にかかったりしない限り、その寿命はなんと50年以上とも言われているそうです。すぐに諦めたり勝手な思い込みなどで、再生可能な命をどれだけ無駄にしてきたのかという反省を踏まえ、気長に大切に育てていきたいと思っています。